

同窓会会報に掲載された記事：「16期」 関連の記事

同期会便り 16期(1965年3月卒)のページによろこそ!!!

*同期会・クラス会など同期の仲間との集まり、地元でのご活躍等の情報をお寄せください。

16期の皆さんからの寄稿をお待ちしています。

*寄稿に当たっては、卒業期(或いは卒業年月)、氏名(含む旧姓)を必ずご記入ください。

寄稿の宛先は：市川二中同総会事務局 住所：〒272-0825 市川市須和田2-34-1

E-mail：2chu@kde.biglobe.ne.jp

*会報5号(2002年10月)から

16期1組・鳥海学級

16期1組 安藤 達夫

一昨年三十五年ぶりの千葉県民
復帰を期にクラス会開催を思い立
ちました。恩師の鳥海宏常先生が
お元気なことを確認した上で、市
川在住の有志の協力を得て準備を
始めました。

卒業生名簿、電話帳、旧宅近隣
の聞き込み、人づて……、あらゆる
手段を用いてようやく級友の半
数強の消息が判明したのが昨年末、
ちょっととした探偵気分でしたが、
苦勞して旧友を見つけ出した時の
うれしさは格別でした。市川二中
の同窓会事務局にも大変お世話に
なりました。ただ第16期ではわれ
われが初めてのクラス会開催と聞
いて意外にも思いました。

そんなわけで準備に手間取りま
したが、5月6日の午後、JR市
川駅に近い山崎製パン厚生年金基
金会館に鳥海先生を囲んで一六名
の旧友が集まり、三七年前にタイ
ムスリップして久々に楽しいひと
ときを過ごしました。

鳥海先生からは、七五歳になっ
ても若さを保つ秘訣として「新し
いものに挑戦するのに遅すぎるこ
とはない」という有益なお話をい
ただきました。現在でもパソコン
通信、囲碁、写真……と広い趣味
をお持ちで、ボランティア活動に
も御活躍とのことです。

その後出席者から近況報告や二
中時代の意外な話が飛び出して大
いに盛り上がりました。卒業前年
の秋には東京五輪があり、千葉街
道を通る聖火に随走する級友を声
援しに行ったり、午後の授業を振
り替えて教室でテレビ観戦したの
も懐かしい思い出です。本当にあっ
という間の3時間でした。その後
居酒屋での2次会、カラオケでの
3次会と有志は時間の許す限り再
会を楽しんだようです。

いずれは第16期卒業生で合同同
窓会を開催したいと考えています。
また先輩方の活動を見習って、
われわれも末永い同窓会活動がで
きるようにしたいと思えます。楽
しいネットワークづくりと同窓会
会員のみなさんよろしく御協力下
さい。



第十六期の合同同期会

16期1組 安藤 達夫

六月八日の同窓会には、昨年の自分一人から今年は一気に十二人と第十六期の参加者が増えました。またまたタイミングよく一月に八千代台小学校で初めての合同クラス会があり、市川二中への進学者が大変多かった（何と卒業生の十五%以上）ことが判明したことも幸いしました。

同窓会終了後は同期で自然発生的に市川駅前のレストランで楽しく二次会。（中学生気分に戻って大いに騒いだためか、翌日携帯電話やら名刺入れやら忘れ物を取りに戻ってきた仲間が数名いたの盛り上がり何よりの証拠）

席上旧六組の斎藤康君から八月のクラス会開催が告げられました。担任の佐瀬先生がもうお亡くなりになっているので、当時お世話になった二中の先生方を数名御招待することのこと。この会報の原稿締切には開催報告が間に合いませんが、御成功をお祈りします。

まだ同期卒業生四五七名の消息も十分判明したわけではないのですが、この盛り上がりに乗じて名簿も整備し、われら第十六期を同窓会の一大勢力にせんものと考えています。いずれは合同で同期会を開くのがわれわれの夢ですので、会員の皆様、同窓会役員の皆様、どうかよろしく御支援下さい。

「盛大に」

16期・同期会を開きました

16期6組 斎藤 康

平成17年4月30日、卒業後40年を経て初めての同期会を開催できました。山崎・パン会館を会場に、恩師・西村先生（3組担任）をお招きして70名の仲間が集いました。

☆ きっかけは1組のクラス会の報告から

同窓会報第5号に1組（鳥海先生）のクラス会開催報告（安藤君）に刺激を受け、6組も開こうと思いを立ちました。6組のクラス会は平成15年8月16日（土）に4名の先生方と卒業生9名で開くことができました。その席上「この次は、是非第十六期の同期会を開こう」と大いに盛り上がりました。昭和40年卒の我々は「満55歳を迎える平成17年がふさわしい」二时期的には連休の時が良いのでは「会場はやはり市川駅周辺が」等々多数の提案や要望ができました。

☆ まずは各組のリーダー依頼：難航

既にクラス会の名簿が有った1・6・7組以外の名簿を整備するためリーダーの依頼が思いもかけず難航しました。仕事や家庭の事情もあり大変でしたが「参加者の数よりもまずは開催を優先」で進めました。準備は16年の8月位から始め、毎月のように名簿整備や会場選定、次第など打合せを重ねました。個々の世話人が活動するうちに除々に輪が拡がり、参加者の増加に役立ったと思います。☆ 同期会のひとまず開催とその後そして これから



同期会で、様々な意見「定期的開催」「飲食を工夫して」「季節を考慮」等が寄せられ、それを参考に1ヶ月後の反省会で、次回は3年後の4月29日（昭和の日）開催が一応きまりました。

また、真間駅前の真間卓球場は同期の伊藤さんがオーナーであることが分かったので、10月に卓球部OB会を開き4名が参加しました。昔の動きは望めないものの、時間とともに体が思い出し、試合も形になりました。翌日はチョット筋肉痛だったのは愛嬌でしょう。

第16期会（会の名称を決めることを提案中）は、3年ごとに定期的な開催をして行けば、きっと輪が大きく拡がり重要な活動になることを願っています。

16期 欧州同期会報告

16期 安藤 達夫

昨年の11月中旬にドイツで1週間国際会議があり、帰路パリまで移動の途中にある古い町ディジョンに住む同期生の長塚（上村）修代さんを訪問しました。彼女は御主人とフランスにもう28年以上も住しておられます。

4月に彼女が日本に一時帰国した際には東京で恩師の西村行雄先生はじめわれわれ同期生有志が集まりました。2次会のカラオケでは日英仏語が飛び交って大いに盛り上がりました。

再会を期して別れてから半年あまりでの再会となりました。たまたまフランスの国鉄ストとぶつかり、経路や日程の変更を余儀なくされましたが、ちょうど現地はワイン祭り、試飲会もあり、歴史的建造物や美術館の訪問、地元名産のブルゴーニュワインとエスカルゴの夕食など大変楽しく過ごすことができました。また夜が更けるまで二中時代の思い出話に花が咲きました。

「友人とワインは古いほど価値がある」という名言を今回実体験しました。翌朝後ろ髪を引かれる思いでディジョン駅を後にしました。が、また近いうちに同期のみんなにお会いしたいです。長塚さんに改めて感謝します。Au Revoir!

*会報11号(2008年3月)から



「友人とワインは古いほど価値がある」(フランスにて)



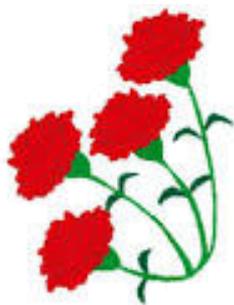
16期 第2回「いよよ会」
SING
故林善夫、平泉健君の
仮想対談です

林善夫(以下林) おう、平泉君久しぶり! 元気にしてた?
平泉健(以下平) 元気な訳ないよ林君、3年前にこっちの世界に来たよ
林 なんだ、君も黄泉の国の住人になったのか!
平 健康には自信があったんだけど、病気には勝てなくてね
林 とところで、二中で我々と同期の仲間が集まったそうだね?
平 家のかみさんにも案内が来たけど、去年の9月29日にあったって仏壇で手を合わせてたよ
林 なんてまた、今頃にねー
平 次にやるときは「還暦」を祝うからだって、発起人のヤッチンが言っているらしいよ
林 そうなんだ! 何人くらい集まったのか知ってる?
平 八幡会館が会場だったんだけど、3名の恩師と卒業生45名が出席したらしいよ
林 先生も来てくれたんだ
平 齊藤、大福地、大池の各先生と同窓会篠崎会長が来賓だったって、連絡があったって



林 けっこう長時間だったのかな
平 2時間の予定がチョット延長になったらしいよ
林 2次会はあったのかなあー?
平 なんでも、八幡会館はこの日が「最終の営業日」で「16期が最後のお客だった」ので定時になって、一応の中締めをしてから2時間位カラオケで盛り上がったって
林 なかなか巧いことやったね?
平 幹事が集まって何回も打合せしたからねっ!
林 みんな、健康で羨ましいな!
平 そうだね。こちらの世界にも仲間が増えたけど現世に残ったメンバーは元気で居て欲しいよ
林 今度はいつ開くのかなあ?
平 2年後の秋に還暦祝いを開くように準備活動を始めたって
林 その時は大勢の仲間が集まって盛大に赤のチャンチャンコ祝いをして欲しいよね
平 そうだね、みんな参加して欲しいね
(文責 ヤッチンこと齋藤 康)

*会報13号
(2010年3月)から



「いよよ会」に参加して
16期 久保田(逢沢)敏子
昨年春、久しぶりに須和田の実家へ帰ったとき、兄が「二中から同窓会会報が届いているぞ。還暦の同期会が有ると載っているけどお前と同じ卒業年じゃないか?」と言いました。早速、懐かしい思いで掲載されている問合せ先に電話して詳しい内容を聞きました。役員齋藤さんから「日時は平成21年10月3日(土)午後1時から、会場は八幡のJホテル本八幡で還暦記念の16期同期会(いよよ会)がある」と教えてもらいました。私は「当日は絶対参加する」と返



平成23年10月1日、日比谷ジャンテの「柿安」で4回目となる16期同期会「いざよい会」を開催しました。

3回目までは市川市内で開いていましたが、「居住地域も広がっているので、都心で開いたらどうか？」との意見から、思い切つて有楽町・銀座に近い日比谷にしました。

来賓として美術科の菅原先生がご出席くださり、同期生25人が集まりました。



先生のご挨拶・乾杯の発声後、飲食開始です。お腹が落ち着くころ、1人ずつの近況報告。年齢の為か「病気」や「介護」定年

退職」など、皆が共通する話題が沢山ありました。約3時間でお開き後、多くの仲間がカラオケ2次会へ。当初参加表明し予定した人数を超えての参加に、会場は少し詰め状態で却って親近感が湧きました。

2年ごとに開くことにしているのですが、来年は何時何処で開くかの検討は既に始まっています。

次回の会報には決定内容を詳しく載せますので、16期の皆様お楽しみにお待ちください。

5. 会報15号(2012年3月)から

事をして、その日を心待ちにしていました。今回は3回目だったので、私は初めての参加で少し心細く感じていました。当日は4名の恩師を含め40名が集まったので、その思いは懐かしい顔に出会った瞬間に吹き飛びました。すぐ二重時代に戻り、青春時代の楽しい思い出に花が咲き、楽しい時間は瞬く間に過ぎてしまいました。余りにも名残惜しいので、二次会にも参加したら須和田幼稚園、真間・菅野小学校、松戸高校の旧友とも40年ぶりの再会を喜びあいました。

昨年(平成25年)8月、まだまだ酷暑の頃、同期の仲間からメールが届きました。「春は奥多摩へハイキングに行ったので、秋のレクリエーションは歴史の街・佐倉市内散策はいかがか？」のお誘いでした。

6月の同窓会総会後に数人で会食しましたが、同期会は2年前から開かれていなかった為、皆の顔を見たくなったこともあって、即「参加」の返事をしました。

10月12日(土)9時30分、京成佐倉駅集合。自宅からは二駅なので、余裕の到着と思つたら、既に数人が集合していました。総員11(男5・女6)人、中(高)年がゾロゾロと歩き始めました。駅前のだらだら坂を約10分、最初の目的地「佐倉市立美術館」10時の開館を待ち、館内見学とトイレ休憩。次の「旧堀田邸」目指し、歩を進めました。折からの「佐倉の秋祭り」で露天商や屋台の準備が始まり、祭ばやしをBGMに約15分で到着。国指定重要文化財「旧堀田邸」※1では、ボランティアガイドさんが面白おかしく解説してくださり、予定時間を若干オーバーしました。

旧堀田邸



市川真間駅からは京成電車で約40分の佐倉市内には、この他に「佐倉順天堂」、長嶋茂雄氏出身の「県立佐倉高校本館」、「国立歴史博物館」等名所旧跡が沢山ありますので、同期生の手軽な散策コースに推薦します。

※1 最後の佐倉藩主、堀田正倫(まさとも)の邸宅。明治23年竣工。現存する明治期の旧大名家の邸宅としては数少ない貴重なものとして、平成18年国の重要文化財に指定。

※2 城下町佐倉の面影を残す武家屋敷3棟。大名屋敷と異なる下級武士の住居は珍しい。

幹事が慌てる中、次は「武家屋敷跡」へ歩く途中、自然あふれる山坂を上り下りました。私は午後にもうしても外せない用件があったので、途中の11時30分ごろ一行と別れましたが、その後、皆は武家

6. 会報17号(2014年3月)から

7. 会報20号

「★★51年5カ月分のラブレター★★」の書き出しで始まる同期会開催案内文書。

懐かしさで一杯の幹事13名で、4回の打ち合わせを持ち、各自一人一人役を受け持ったので皆が得意分野で動き、準備作業はスムーズに運びました。

10月29日(土)「はな膳・本八幡西口駅前店」において、34名の参加者で開催。今回は5年ぶりの同期会で、初めての参加が7名、最も遠方の宮川夫妻は遥か京都市から揃って出席してくれました。

クラスごとに卓を囲み、卒業時のサイン帖や“昭和39年度秋季大運動会・プログラム”等の懐かしい品が回覧され、思い出話に花が咲きました。私たち

第5回 いざよい会(16期同期会) 16期 佐々木 あい子

が3年生の時に「東京オリンピック」が開催され、教室で授業としてテレビ観戦・応援したことが皆の共通の思い出です。当時、テレビ(もちろんモノクロ)は貴重品で、在校生の電気店から借り出したそうです。

生徒会長だった齊藤修平君が入院加療中との情報があり、色紙に激励の書き込みをしました。

今回の同期会で「昔の友人や同級生と交流を持って、とても感謝しています」とのお礼の挨拶を聞き、嬉しかった会も2時間30分の後、笑顔でお開きとなりました。

